

北の物販大富豪 謁見音声 書き起こし資料

2014年9月11日 謁見収録 No.02



はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『うつ病セルフヘルプトレーニングeスクール』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。



北の物販大富豪：

まあ、今、38やから、もう12年もまわって50。20年まわってもまだ、いけるやろあんたの歳なら

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

そしたらその間に、チャンスてのが・・必ず1度はあると思うよ。ね、たとえばこの、モレックパインスリーの取り方とか

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

ね、これは俺の金融工学や

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

これを取る事もできるわけや

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

いや、法律通りやで。彼は250戸こうあると。今、俺と孔明で2戸持っとる。

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね、残り248戸

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

所有権取ったら。土地も建物も、全部・・こうゆう事なんや



真田孔明：

うんうんうん、はい

北の物販大富豪：

そんな時に、金を出す奴だけを1個見つけておけばいいや、本当は。ね、もっと簡単に言うとドボンになった時に、経済が・・・あんたそれってよう考えるのやろ？日本がどうか・・・

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

その時に拾おうや

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

それはね、今じゃない

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

それは上り坂。ね。下り坂に落ちて、鍋底っていう経済あったやろ？日本に？10年間。

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

ね？あの鍋底がまた割れた時の状態なんや

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

そういう時ってのは物ってのは簡単に。すっところ入る。本当に瞬間やねん。

真田孔明：

ああ～



北の物販大富豪：

今じゃ日本で、探したって歩いたって絶対ないもんがある。その瞬間、本当に、ね、なんとか、与沢が何か言うとした秒速の話。

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

その一瞬に必ずある。俺は絶対あると思うんやで。その、あんたにチャンスは・・・よく知っとれば

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

だからやっぱ医者と。銀行家、昔から医者と銀行とあともう1つ、なんか1つ持ていうやろ。あれはやっぱ、確かに間違いない

真田孔明：

政治家？

北の物販大富豪：

そう、政治家、政治家はね、あの、あんたも誤解しとる事いっぱい多いけど、ね、昨日の藤村にも言うとしたんやけど、政治家を彼はきれいなもんやと思うとるね

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

ま、アホでない限り、年間2,000万の、2,500～600万の給料をもらってやど、人を3人5人使うとって、そやろ、お前、自分の事務所も議員会館にも持っとるよ。他のところにも当然、事務所も持っとるわけやねん

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

そこをねえ、お前、2,500万でどこをくつつける？そやろ？



真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

そう、あれは献金になると

真田孔明：

献金、 笑

北の物販大富豪：

本当やよ？いやいやいや、パー券ってのは、電車に乗る時の、見送りの、見送りに行く時によ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

入場券！あれやで・・あれは、切符じゃないからね

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

これ、入場券

真田孔明：

入場券 笑 200人の！

北の物販大富豪：

みんな、そこのと結構、誤解しとる、あの電車に乗る切符と思うとるバカおるが、あれ入場券。

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

見送りの入場券

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

切符、どこどこに行きたいって切符は、また別売りな

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

ね

真田孔明：

ちょっと持たせて・・・ちなみに政治献金の渡し方って、たとえばパーティーに出るんですか？
藤村さんが・・・たとえば今回

北の物販大富豪：

うんうんうん

真田孔明：

その時に名刺交換をして、それから、どうやって渡せばいいんですか？政治献金って？

北の物販大富豪：

案件によって・・・パー券とグロス

真田孔明：

グロス

北の物販大富豪：

たとえば、病院造るのに、療養型の3階建ての病院を造る。1500坪のね。それを、国が想定
しとるのは、7億8500万から8億5000万。

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

出るのやで。許認可と・・・補助金と。

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

欲しいと・・・



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

つけてね

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね、先生はさあ、ただで・・・こっちは、もらう方ただやねん

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

どれだけキックバックするかやと？わしはもう中間ブローカーやから、まあ先生「3,000万ほどで手を打ちましようよ」と・・・ってとこいくわけ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

あ、●●言うコンサルタント。もともとコンサルタントしとったんやろ？

真田孔明：

はい。

北の物販大富豪：

名刺にさ、●●●●●●●●なんて名刺持ってきてさ、マンション買って下さいって話でもないやろうしさ

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

だからやっぱり名刺は、ハッターが大事やから、表には。表は横文字で、裏には日本版。



真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

マレーシア、ねえ・・・

真田孔明：

海外コンサルタントみたいな感じの？

北の物販大富豪：

そうそう、そんなのは名刺を作って持っていかなと行った意味もないから

真田孔明：

ハツタリがね・・・きかないと向こうも話、聞いてくれないですよ、怪しい名刺もらっても

北の物販大富豪：

パーティーやから

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

まずは、名刺抱いて2枚のパー券を、入場券をね。買うのや。

真田孔明：

はい。

北の物販大富豪：

んで、一応相手は、あんたと一緒にちゃんとしとる、こう名簿の中に入れるわ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

あ、このナンバーは、あ、●●さん（北の物販大富豪）のところで出した券が、この人に渡ったって事は、●●さん（北の物販大富豪）とこの出入り口が、俺のところになるわけや、ね？

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

だからあとは、グロスでっかいね。やばくでっかい話なら、持ってきて。

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

いやたとえば、ここの、ね？ここのマンション、全部1棟、孔明買いたいと。

真田孔明：

はい。

北の物販大富豪：

とりあえず言っとるんで、相談にのってやって欲しいと。そうすると何が用なのか？簡単です、所有権を全部取りたいだけや

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

総額いくらかかる？んなもん計算すればでる、2,000万ほどで、1戸買って、250戸買うや、50億。そやる？

真田孔明：

はい。

北の物販大富豪：

だからここシンガポールによく来る、●●●●とかさ、●●●●●●●●●●は聞かんか・・
●●●●はどっかから50億、タマ引いてくれと

真田孔明：

ああ、融資を

北の物販大富豪：

そう。日本にある企業は全部。日本の国へ色々お願いしとる事ばっかしや

真田孔明：

うん



北の物販大富豪：

でも日本の持ってるお金から言うたら、50億なんてお前

真田孔明：

年間で使ってるの、50兆ですもんね、使ってるの・・国が

北の物販大富豪：

そうそう、だから今ね、あなたがこの私が言うたトリプルエンジンを進めとっても、1番喜ぶのは誰か？

北の物販大富豪：

君には応援団がおる

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

去年5兆円、投資信託のあがりだけ

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

あがりやよ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

だけ取ったん・・国は。今年から10兆円儲かる、国は、20%きたもん

真田孔明：

ああ、ああ

北の物販大富豪：

そうやる？かすりを？孔明も払っとるわけや

真田孔明：

税金ですよ？



北の物販大富豪：

税金

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

かすりやろ？あれ？やくざ者の？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

そやろ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ほら、あなたは国の政策に則った仕事をするわけやねん

真田孔明：

これをしろよと、みんな税金払えと

北の物販大富豪：

そうそうそう、簡単に言えば、そういう事よ、そやろ？あとはほう・・だからなんかね

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

四柱推命かなんかそれはちょっとまずいけど、それ以外のなんかこう物の名刺とかさ、いやいや・・あの・・いつでも裏でも、そういう話是可以るから

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

この間、大学の先生が来て、ガンを食べる細胞を見つけたと



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

んで補助金の申請をしとるんやけど、全然受付にも会えない、そういう先生いっぱいおる、世の中やから

真田孔明：

実はガンの治し方って、意外にあちこちに出てきてるんですよね？ 笑

北の物販大富豪：

いや、あんたが言うんは本当、本当は西洋医学じゃなくて、東洋医学で治るかもしれんちゃうやつ

真田孔明：

でもそんなのが出てしまったらね、大ダメージですね

北の物販大富豪：

昔、水で走る車を作った人がいて、それって、どうなったかって言うと、ボツや

真田孔明：

ボツですよ？ ガソリン

北の物販大富豪：

そうそう、アメリカが1番損するから

真田孔明：

そうですね

北の物販大富豪：

そういう表と裏ってのは、手の表と裏やから

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

孔明、こっちのつかむ方は、問題ないんや

真田孔明：

うんうんうん



北の物販大富豪：

こっちのね

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

こっちでは相手を掴めんやろ？

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

掴めんやろ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

せいぜい石を乗せる、お金を乗せるくらいや

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

これこぼれる

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

ここにある奴らを手の中で落ちん、その違いが1番孔明、大きいんでないかい？

真田孔明：

うん、もし許認可とあれでセットで、今手に入ったら、1番僕達が儲かるんじゃないかなって、僕と半田先生が2人で話したのが実は、えーっと、ストラクチャードファイナンスというやつで

北の物販大富豪：

うん



真田孔明：

確かどこかの政治家、元総理大臣の弟か誰かがですね

真田孔明：

六本木ヒルズのケヤキ坂のテラスの、●●●●って会社で、やってるところあるんですけど、そこで何やってるかと言うと、保険のあのお医者さんが、レセプトってのがああるんですね。債権みたいなのが

北の物販大富豪：

うんうん

真田孔明：

あの保険のポイントのところじゃないですか？保険使ってくれたら、それを2ヵ月後からお金に両替できるんですよね？

北の物販大富豪：

そうそう

真田孔明：

みんな今、病院経営ってみんな苦しくて、その2ヶ月間待ってられないと

北の物販大富豪：

先食いしとるやつやろ

真田孔明：

はい、それでそこのとこだけが、ここの●●●●を譲渡する権利を持ってるんです、国から

北の物販大富豪：

うんうん

真田孔明：

国から・・・

北の物販大富豪：

●さんとかやな？

真田孔明：

●さんですか？



北の物販大富豪：

ああ、●●●いう総理大臣おったやろ？野郎、我が家の春言うとする

真田孔明：

そこがボロ儲け、1人勝ちしてて

北の物販大富豪：

うんうん

真田孔明：

そこがあるとなにができるかと言うと、結局あの全部、合同会社とかで、資金調達できるあれを持ってるんです、案件が良かったら

真田孔明：

案件が良かったら・・持ってるんですけど、そっから資金調達したやつをお医者さんから買い取ってあげるだけなんですけど

北の物販大富豪：

そうそう

真田孔明：

レセプト、それが許認可が、なにが必要なのかわかんないですけど僕達も、具体的な名称が・・それしか持ってないんで

北の物販大富豪：

あ、今確かにそれはあれ、流行っとるよ

真田孔明：

あ、流行ってるんですか？やっぱり

北の物販大富豪：

あの資金繰りの悪い先生は、自分の診療報酬、薬飲む人なら2ヶ月遅れやから一緒なんや

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

レセプト代って金、うちらも貰ってるんやけど



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

その債権を、債権譲渡やったな？

真田孔明：

はいはいはい

北の物販大富豪：

債権譲渡って名前あるけど、出るところが厚生省のお金やろ？

真田孔明：

そうそうそう、そうなんすよ

北の物販大富豪：

だから鉄板焼きや

真田孔明：

そうそう、鉄板の投資済みはここなんですよ？

北の物販大富豪：

そうそうそう

真田孔明：

僕達知ってる

北の物販大富豪：

う〜ん、んでそれは、あとでその会社に入って、貸し出したお金を差額だけ抜いとる

真田孔明：

そうですね

北の物販大富豪：

こっちで先払いしとる

真田孔明：

そうですね、はい



北の物販大富豪：

あれはなにが、噛んだる言うとり？あんたの好きな三角形のやりとりや、厚生省と

真田孔明：

そうです

北の物販大富豪：

会社と、会社の中に金融をひとつ置けば、簡単にかっちゃんこがっちゃんこ

真田孔明：

それであの～、周りからお金を集めて

北の物販大富豪：

そう

真田孔明：

そっからお医者さんが買い取って、1ヶ月だけ待って

北の物販大富豪：

それで1ヵ月後、国からもらうと

真田孔明：

2ヶ月ですけどね？

北の物販大富豪：

あのねその債権はね、1ヶ月物と2ヶ月物があるわけ

真田孔明：

ああ、そうですか

北の物販大富豪：

だから2ヶ月遅れやから2ヶ月分の金利をはねとるわけね

真田孔明：

うんうんうん、あ、金利がまたそうなんですよ、金利のゲームの話で

北の物販大富豪：

ああ



真田孔明：

銀行金利0.7%か、1%、2%、3%、これだとまさにこの、金利20倍とか取れるんで

北の物販大富豪：

うんうんうん。そや、人の債権

真田孔明：

人の債権で

北の物販大富豪：

民も公も一緒なんや、債権、証券

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

ね、金を持つとる奴が金が儲かるシステムになっとる

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

要は、あんたらそんな事を、よう書いてない？

真田孔明：

はいはいはい

北の物販大富豪：

でその分や、簡単なシステム

真田孔明：

ここがポイントはやっぱりあれですよ、お医者さんからそのポイントを譲渡、本当にしてもらわないといけないじゃないですか？名義も？

北の物販大富豪：

うんうんうん

真田孔明：

じゃないと怪しいっすよね、これが飛んだらダメになっちゃうんで



北の物販大富豪：

そう

真田孔明：

そのの権利を持ってるのが、そのケヤキ坂の、●●●●って会社で

北の物販大富豪：

あれは、違うんだよ、その診療報酬は、国に請求するわけや

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

それが認めとる、認められるわけやから、診療報酬の額が決まる

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね、その額を国のお金の額を、まず譲渡してもらう

真田孔明：

譲渡

北の物販大富豪：

譲渡契約書を作るんや

真田孔明：

譲渡契約書

北の物販大富豪：

譲渡契約書を作るんや、先生と

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

「先生の債権は、2ヶ月後の債権は、僕のところに譲渡します」



真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

「その代わり僕がそのお金を、先払いしてあげますよ」

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

こういうシステム、三角形の

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね？だから1番、だから・・・まあ政府関係者ってのは、ほとんどそういう事をしとる

真田孔明：

そうですね

北の物販大富豪：

政治家なんてのは、それが仕事なんよ

真田孔明：

ここがもし、北の物販大富豪がご協力いただければ、すぐにでも僕達を作りたいねえ、案件の1つなんですよ

北の物販大富豪：

あのね、そんなね

真田孔明：

無理ですか

北の物販大富豪：

●さんの懐の方に手入れたら、お前・・・

真田孔明：

やばいすか？



北の物販大富豪：

手に・・

真田孔明：

あれ、やばい方々なんですか？

北の物販大富豪：

そう

真田孔明：

ああ、そうなんすか、だから誰も手出さないんですか？

北の物販大富豪：

そうそう、だから彼は総理大臣やったからね

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

その次に、え〜っと、●●●●●やろ、総理大臣したの、あれ全部、一緒の派閥なんやろ？●
の下、●●さん、その次が●●、●●

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

それで、ね、●●●、ちょっと変わったけど、●●の次、またぐるっと回ってまた●●やろ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ねえ、結局、ね、●さんのパーティーにも、ずっと俺参加しとるけど、我が世の春や、わかる？

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

我が世の春、我が世の春や



真田孔明：

全部自分の配下の者

北の物販大富豪：

そうや、なんでもできる

真田孔明：

じゃあ●さんここを持ってるから強いんですね、1番おいしいところを持ってるすね、やっぱ、そりゃ強いな

北の物販大富豪：

いやいや、そんな事はないよ、●●●●●の時に、郵政改革かなんかやったやろ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

あん時に、●●、●●、●●●●

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね、チャンバラする人みたいな名前の人おったやろ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

あの人がなんせ金のピンはねを、一緒に事を考えて、やっとり

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

あれは郵政のなんやったかな、ま、みんなやっとり。強い奴は・・・あのね、なんで強い奴は・・・
たとえばなんで●派が今強いと言うたら、あんたもまさしく言うとした、金持っとりからや



真田孔明：

金持ってたら、強いですよ

北の物販大富豪：

金を持ってて、鉄板焼きの金をどんどん入って来るから、ね、何度でも総理大臣させられる

真田孔明：

これ、自動的にお金が唯一入って来る、まさに鉄板、鉄板焼きなんすよ、僕達が考えられる範囲の

北の物販大富豪：

そうそう

真田孔明：

究極の・・・じゃやっぱ無理ですね

北の物販大富豪：

そういう案件ってのは、だからほとんどは上が取ってしまう

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

ね？あ、すごいもん見つけたなと思うやろ？そんなものに手を出すと、火傷するか、それをごり押しして前に行くと、まあ孔明さんがなんか、ねえ・・・から飛んだみたいですよと

真田孔明：

うん、別件逮捕とかね？

北の物販大富豪：

そうそう、納得、我々の部落がね、昔、田舎でグループ作ってた

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

全員、順番に逮捕された

真田孔明：

ええ～目立つ事やっちゃって



北の物販大富豪：

そう、目立ってるね

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

これはもともと、●派の派閥の人間じゃねえ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

●●●●●言う人の派閥や

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

もともとは●●派や、俺は

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ま、そんな時は、俺が我が世が春やった、許認可が大先生に言えばとれたから

真田孔明：

ああ、ああ、ああ

北の物販大富豪：

「社長、今日老人ホーム作りたいです、女房といいですか？」

真田孔明：

爆笑 はい

北の物販大富豪：

「ああ～いいよいいよ」「今日、夜終わったら・・・」



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

「銀座でまたからんで行きましょう」

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

これでもう鉄板焼き屋やった、でその我が世の春も終わって、当然もともとは●派も顔出しとったパーティーに

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

ね、でやっぱ●派の人は、難しい

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

で、●●派と比べると、地味やね

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

戦略が

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

で、1回は甘いところかめ、あなたもトップの

真田孔明：

う～ん



北の物販大富豪：

頭を取ると、あんたの言う金融工学やから、金さえあれば、あんなの永遠に続くわけやで、もち代やってさ

真田孔明：

ここ、取っちゃってたら、確かに

北の物販大富豪：

そやる？

真田孔明：

他の人がお金いらないうって言うもん、あれ、国とかのお金も回収図式ですよ？

北の物販大富豪：

そうそう、あの時に、知らんかな？●●になった時に、経済諮問委員会に入っているのは、オリックスだよ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

オリックス、わかる？オリックスなにかしとる？

真田孔明：

あの～金貸しですよ？

北の物販大富豪：

金貸しや、だからあん時に法律を、105%の、105.29の金貸しは全部アウト

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

ね、わかる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

資本のでかいやつだけが残るようなシステムとったわけよ



真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

ね？

真田孔明：

こうやって鉄板焼きを考えれば考える程、全部許認可にぶつかる

北の物販大富豪：

ですから政治家ってのはそうなるとる、孔明、絶対に世の中には、だから入れては手、絶対に
入れてはいけんところがある

真田孔明：

これもそうですよね？

北の物販大富豪：

あとね、無理して下から突き上げやると、あんたの好きな別件逮捕

真田孔明：

別件逮捕 笑

北の物販大富豪：

別件や、ああ、わしらもね、●●●●、●●、ずっとつながってきて・・・んで結局はみんな逮捕や

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

富山県の、会をつくっとる先端、ね、1番トップやってる・・・会の人寄せてさ、先生（手をパンパンと叩く）、こうやると何人かの人すぐに全部逮捕や

真田孔明：

ほお～

北の物販大富豪：

自分流、わしらも逮捕



真田孔明：

ああ～、税務署とか、そっち？

北の物販大富豪：

警察、パス・・・結局、所轄3つ、3つ首絞めると人間は引っかかる

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

税務署

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

警察

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

もうひとつ許認可、土建やっとなるやろ、土建業、薬屋やっとなると薬事法が

真田孔明：

そうですね

北の物販大富豪：

絶対この3つで蛇の頭ってのは取れる

真田孔明：

ああ、どっか細かくチェックしたら、そう大きくやってたらビジネスは

北の物販大富豪：

そう、どんな奴でもこの3つで締め上げると、どっかに引っかかる

真田孔明：

うんうん



北の物販大富豪：

ね？であとはゆっくりへたるまで、だからほとんど俺の友達のところは死んでってまう

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

生きとっても会社ないとかさ

真田孔明：

もう、出てきたがらない

北の物販大富豪：

そう、終わり、みんな終わり、だからそんな中でじくじくと残っとる

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

なめくじのように

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

それはね、やっぱり会社の数を持ってたから

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

まず薬を卸す会社でやられた脱税を・・・そういう会社が出てきたら早く（見切って）パ～ンと

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

で俺、小船いっぱいもったから、ね、●●●●やら●●●●●やら、●●●●●やら、
●●●●●●●やらあった、そういうところで生き延びて・・・で結局、やっぱ薬屋の調剤で今やっ
とる



真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

おんなじ許可をだから無理して2回取っとる、薬の卸を

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

名前あるとさ・・・法人がある、名前がある、やっぱ攻めて来るやろ？

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

最初の会社無くなりましたっていう事になると、死んだと一緒にやから

真田孔明：

うんうん、つまり1回復活させる・・・違うやつ？

北の物販大富豪：

そうそうそうそう、端にひいて・・・ま、そういうところがないと

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

それでも、やっぱ、そこの、復活の手順も難しいよ

真田孔明：

あ～

北の物販大富豪：

「そんなの、まだ生かしとんのか？」という事になる

真田孔明：

うん



北の物販大富豪：

どっかが、横からさ、「いや～まあ、まだ、ためになりますよ」パーティーにも出てる奴で

真田孔明：

ああ、そういうの必要ですよ

北の物販大富豪：

そやる？

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

たまも捨ててさ

真田孔明：

ちゃんと転ぶように

北の物販大富豪：

たてつかんようにしますからとかさ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

そういうところはきりしとる

真田孔明：

はい、確かに

北の物販大富豪：

そういうのがあったらあの、基本的に

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

あの、あ、それとね昨日考えとったんやけど、法人の税金も個人の税金も43%強なんや



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

どっちもたいして変わらん

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

株の利益ってのは20%やろ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね、だから法人なんか作る必要はないの

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

うまい事したら生き残れる

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

でも法人が、法人はハッキリが大事

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

横浜出身やて？

真田孔明：

横浜です、はい



北の物販大富豪：

うちの婿はんも横浜なんや

真田孔明：

ああ、そうなんですか？

北の物販大富豪：

で、横浜に実家があるんやろ？

真田孔明：

ありますよ

北の物販大富豪：

じゃそこに会社1匹作っとく

真田孔明：

今、弟に代表になってもらって、僕と幼なじみの酒井君って言うんですけど、彼が後ろでや
てるんです、あ、立ち上げたばかりで

北の物販大富豪：

ああ、ああ

真田孔明：

ま、農業ずっとをやってたんで、農業辞めさせて、それで今、物販の店舗バイトを3ヶ月だけさ
せて、実績・・・

北の物販大富豪：

店舗バイトって？

真田孔明：

店舗のアルバイト、●●●●●●●●●●って会社で店舗でバイトさせてるんですよ、でそれ
なにをやってるかと言いますと、銀行マンの幹部いるんで

北の物販大富豪：

ふ～ん

真田孔明：

あの～法人融資担当の幹部が僕のメンバーにいて、その人と一緒にあの、やってたんですね、
セミナーとか 笑



北の物販大富豪：

ああ～

真田孔明：

黒田先生とか言って、あれ本物なんですよ、銀行の法人融資担当で

北の物販大富豪：

うんうんうん、確かにあの～、だから書いてある事に、そんなにズレ、ブレがない

真田孔明：

あの～、本当に指示する人です

北の物販大富豪：

ああ～

真田孔明：

トップの人なんで、3兆円くらい・・・年間

北の物販大富豪：

ああ～

真田孔明：

で、その人のアドバイスで、だからあの・・・物販の経営、3ヶ月なんでもいいから持っとけて

北の物販大富豪：

うんうんうんうん

真田孔明：

それを書いとけば、過去の経験によるとっていうと、入口のところ・・・まだ、小さ～い入り口の
のそこなんで

真田孔明：

で今3ヶ月やらせて、物販もやらせようとしてるんですけど、その時にアパレルやらせたり、とか、逆に僕達はもう利益はいらなくて、売り上げを右から左にやろうってのを話してるんで、一緒に

北の物販大富豪：

そうねえ



真田孔明：

そんな時に僕達は基本的に、もうなんでもやるって姿勢なんで

北の物販大富豪：

う〜ん

真田孔明：

右から左やったら、利益もそんないらないって、弟の給料が出れば

北の物販大富豪：

うんうん、それでいいんやけど、あとそうやねえ・・・うちらでやってる向こうの物販では全然
お金にならん、たとえばクリスタルあるやろ？

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

あれでも、中国のはじまりは、あんな物が結構売れた

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

中国人はさ、ダイヤとかクリスタルとかハッキリわからんからさ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

金持ちほど光って大きささえあれば、だから、ね、中国行ってさ・・・日本に●●●●●って言っ
て、ちっちゃい錠剤あるやろ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

中国のやつ、10元？千何百円、10元を千何百円よ？



真田孔明：

クリスタル？

北の物販大富豪：

まま、薬を

真田孔明：

薬？それ日本で売っていいやつなんですか？

北の物販大富豪：

俺、薬屋あるから、なんでも仕入れられるから

真田孔明：

ああ、そうですね

北の物販大富豪：

それを歯の痛い人に売とったわけね、生理痛とか歯の痛い人に対して・・・たまらんやよ、あれ

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

あの黄色い錠剤、ぽろっと飲むとすーっと効く

真田孔明：

麻薬的に 笑

北の物販大富豪：

麻薬と

真田孔明：

薬？薬みんな全部麻薬って言ってましたよ、本当に・・・お医者さんが

北の物販大富豪：

そうそう、であれ1錠年間2円もらえる、うちら・・・で10錠のシートで20円やろ？

真田孔明：

うん



北の物販大富豪：

そういうことをね、知恵や、ちょっと、知恵も光明やから・・・そういう事を考えたり

真田孔明：

うん、最近薬をネットで売のを解禁になったって、言うのあると思うんですけど

北の物販大富豪：

うん、あるな

真田孔明：

あんまりああいうのには、手を出しちゃいけないですか？

北の物販大富豪：

あれは、今のこの楽天やよ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

仕掛けたやつ

真田孔明：

はい、そうですね

北の物販大富豪：

だろ？●●●が、政治諮問委員会に入っとるんよ、だからね、孔明、絶対にね、こういうところの危ない発想が多い

真田孔明：

あ、そうそう 笑 極論、行っちゃうんで、あの、全部

北の物販大富豪：

だから、あんた言うたらいいところ見とるんよ

真田孔明：

目のつけどころはいい？

北の物販大富豪：

いい



真田孔明：

それにやっぱりみんなもあの・・・難しいですね

北の物販大富豪：

うん、だから今、ひっかかっとなるところあるやろ？あれ、煙の問題でさ、合成麻薬か

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

あれも一緒なわけ・・・発想は

真田孔明：

合法ドラッグ

北の物販大富豪：

そう、合法ドラッグやから、別に関係ないやねんかと、ね？ヘロインでもない、カフェインの濃いやつでもないところでこういうのがあって、売って、また全部引かかる

真田孔明：

うん、変わりますよね、法律・・・もう全部

北の物販大富豪：

そやろ？だから結局あれをその、国に認可せいで、おしこんでたのが●●●や

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

だから●●●が何を考えとるのか？ドラッグストアあるやろ？青木やらなんやら

真田孔明：

ああ、マツキヨとか

北の物販大富豪：

そうそう、あれらを特に狙いを定めとる

真田孔明：

はいはい



北の物販大富豪：

それで、あゆうふうになったわけ、だからみんなね、そういう孔明言う事、凄く鋭いんやよ
笑 前に進まれへんところ

真田孔明：

いきなりそっち行っちゃいけないですよ

北の物販大富豪：

あのね、残っとるのはね、重箱の隅の方、ちっちゃい隅は残っとる

真田孔明：

うん、でも隅でも、小さく僕達個人でやる分には、弟の会社で・・まだあるかなと思ったんですけど、大きい別に何兆行こう何億行こうじゃなくて、ちょっと隅にあるかなと思ったんですけどね、テーマとかしぼったり

北の物販大富豪：

そうそう、あとね、●●●●さん、セブンイレブンの

真田孔明：

セブンイレブンの

北の物販大富豪：

ね、あの人の講演会でもよくね、だから強い企業は後ろに虎抱えとる

真田孔明：

虎、ちゃんと・・国の虎を・・

北の物販大富豪：

そう、だから楽天の株なんて、本当、億単位だけの話や

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

ついこの間、まるまで7~800円行くか行かんかや

真田孔明：

ああ～



北の物販大富豪：

今、1,300円、これまでの倍ほどになっとなのや、じゃ誰買ったの？これ？でこのトリプルエンジン、誰買ったの？みんな日銀の黒田よ

真田孔明：

う〜ん、そこに

北の物販大富豪：

いや、本当はさ、この発想ね・・・ひとつの流れや、あんたもまだ見えてない、これ全部リアル

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

ブラジルリアル立って書いてある、全部だから・・・詐欺なわけ

真田孔明：

ああ〜内容は違うだけで

北の物販大富豪：

そうそう、これね、ブラジルのリアルに金をチェンジして、金貸し12.何%で

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

んで、その金でリート、グローバルリートや、なんとか言って・・・言うたらん

真田孔明：

うん、名前が違うだけで、中身は一緒ですね

北の物販大富豪：

中身は一緒、わかった？簡単や

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

だから簡単な仕掛けのやつと、全く違ったやつとあるわけよ、ね、だから日銀の黒田さんがテコ入れしとるとこは絶対無理なんや、金なんぼでも入るやん



真田孔明：

うんうん、そうですね、お金無限にに刷るんですからね？

真田孔明：

だって年間70兆円、ね、つくりますからね

北の物販大富豪：

印刷やから

真田孔明：

印刷、あれはすごいっすよね

北の物販大富豪：

このグローバルリートなんか言いよる、たったお前、何年かで2千何百億円

真田孔明：

そうですね、だってトリプルエンジンも●●さん（北の物販大富豪）から聞いた後に、毎月100億あがってるって

一同：

爆笑

真田孔明：

すぐ1,000億を超えて 笑

北の物販大富豪：

孔明、これなに？詐欺やお前

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

だから俺は詐欺やって言った

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

ま、それもさ正しいなんてバカげた事を思って



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

感じるそこはあるんやけど

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

俺は絶対そう思う

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

でも孔明、いい、鋭いところ見とるわ

真田孔明：

いや、ダメですよ、全部ぶち当たっちゃうんですよ、こういうあれに

北の物販大富豪：

ぶち当たる言うようなもんじゃない、正面衝突やで、お前の話

真田孔明：

爆笑 ダメなんですよ、なんかほら鉄板のやっぱり案件が作れないかって、みんなが銀行から融資を受けたとしても、それを回す先を探すのが大変なんですよ、僕達にとっては

北の物販大富豪：

ああ

真田孔明：

今仲間たちが数千万とか億とか、引っ張れるようになってきたんですよ

北の物販大富豪：

うんうん

真田孔明：

教わったやつで、例えばその人達も今回プレミアに入ってくれてると思うんですよ



北の物販大富豪：

うん、1回信用つけると、孔明は鉄板焼きや！だから・・・ついていけば、ね、そんな安いもんやと、ね、一応保険みたいなもんで

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

孔明とこ1口乗ってこっとうなるんやね

真田孔明：

そうですね、だから結局その先の、鉄板焼きを今探すのが難しくて・・・今あの●●さん（北の物販大富豪）からこういうの教わったからまだあるなんですけど、こういうところに

北の物販大富豪：

いやでもね、これをね、あんたの場合は早貸ししようとするわけ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

機関銃の様に撃とうと思うやろ？

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

それでは商売にならん

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

あなたの

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

たとえば今これで、2017年？満期が

真田孔明：

はい、満期が

北の物販大富豪：

そこまでまず引っ張る

真田孔明：

引っ張る

北の物販大富豪：

その間にたとえば、1563の番号があったと

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

ね、自分も少し注目しときましょうと

真田孔明：

ええ

北の物販大富豪：

こういうさらったとしたとこで止めとかんと

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ネタ全部全部出したら、ね、終わりなんよ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

そっからあとはあの、資本を提供してやっておけば



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

あんたの金じゃないけど、下が持っとなと一緒

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね、全部、それだけ、たとえばこれなら1杯飲めるとそれ1本頼めんやろ？

真田孔明：

ああ、はいはい

北の物販大富豪：

そういう風に考えて

真田孔明：

はい、使い方を気をつけます

北の物販大富豪：

お客さんをだから、大事にする

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

うちらでもだから、ファミリーオフィスつくってさ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

●●●●●

真田孔明：

ちなみに●●●●●の参加方法とかあるんですか？



北の物販大富豪：

そんなのは皆さんが入れない

真田孔明：

入れないんですか？

北の物販大富豪：

桁が・・・

真田孔明：

桁が違うんですか？

北の物販大富豪：

そう、あなたの好きな億から・・・入場料が億・・・うちの先生とも、全部1億1億1億って

真田孔明：

●●●●●に？ 笑 じゃ逆にあの～、億の単位で出せるようになったら参加できるんですね？
もしもメンバーが、もしも120万払うプレミアムメンバーが

北の物販大富豪：

そうやね

真田孔明：

何億円から参加できるんですかね？

北の物販大富豪：

ま、ロット3億円やね

真田孔明：

3億円、1口？資金調達、銀行からしないと無理ってことですよ？簡単に言うと

北の物販大富豪：

ま、稼いで、もう色々、あんた得意やて色々シートを・・・

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

印刷して見せてやれば



真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

たとえばこの利回り、3年動かしたら、これはいくらになると、得意やて

真田孔明：

皮算用シート

北の物販大富豪：

そやる？だからそういうものを、あんたの好きな工学やねん

真田孔明：

うん、●●●●●証券なんですか？

北の物販大富豪：

いやいや、●●●●●、ただの会社

真田孔明：

合同会社でやってるんですか？

北の物販大富豪：

なんら普通に株式会社

真田孔明：

あ、株式会社で、その

北の物販大富豪：

●●●●●をつけただけやねん

真田孔明：

ここのみんなはあの、あれですか？出資する形じゃないですか？

北の物販大富豪：

ううん、そこで取り扱ってる個人、法人にすると法人税かかる

真田孔明：

うんうん



北の物販大富豪：

個人でやらせとくと、あとは、かすりだけや

真田孔明：

個人に出資するって感じですか？どういう感じなんですか？なにを買うんですか？●●●●●●●●
に？

北の物販大富豪：

●●●●●●で情報を買う

真田孔明：

3億円払う？

北の物販大富豪：

いやいや、3億円を買わして、儲かるやろ？順繰りに

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

5%なら5億あげ、かすりを取る

真田孔明：

うんうん、これお金はどうやって投資するんですか？みんなは？先生達は？

北の物販大富豪：

だから自分の口座だけでやらせるんや

真田孔明：

●●●●●●証券？

北の物販大富豪：

なんなん、だから孔明はそこがそうやって、やっていくと引っかかる・・・こっちが

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

だからお客さん言うのは、医者ばっかりやろ？ま、経営者もおるけど



真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

ね、彼らは、働いてるより、こっちの方がもう儲かる

真田孔明：

ですね

北の物販大富豪：

うん、税金かからん

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

そやる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

だから5パーセントくらい先生のところ、かすり取られとっても、自分の金や先生方の・・・法人の金でもなんでもないもん

真田孔明：

ああ～●●●●●の参加権ってのはどうすれば？あれ3億円を運用できる人？

北の物販大富豪：

いやいやそれはあの～、それはせんほうがいい、あのね、リスクは万が一、世の中には万が一がある、ね、そんなものに出くわしたらどうしようもないから各個人にやらせとく

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

信用で金をもらう

真田孔明：

相手が金が儲かったら



北の物販大富豪：

儲かったらって、「儲かっ取る」や

真田孔明：

ああ、 笑

北の物販大富豪：

だから、「今まであの～税金が10%、自分に5~6%先生あげてくださいよ、儲かったら」・・
「ほんまにそんなバカな話あるんかい？」と

北の物販大富豪：

いやあって・・先生とこに利益があって、口座も儲かったか？言う途端、教えた全部こう数字
出るから

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

ね、どっちも実質、使わんぜニやから、全部再投資に・・

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

そんなふうに教えとくわけよ

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

で、先生方、だんだん積もっていくのが見える

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

毎月増えていって



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

それを再投資に回す、そやる？ 配当金もらう数だけが増えて行くやる？あれ？

真田孔明：

はいはい

北の物販大富豪：

金額も増えてくけども

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

そしたら●●さんが、本当の事言うと、先生顧問業か何かにして、ね、何とかあげとって、1番いいのは個人で取れれば1番ええ

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

遊んで歩いて

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

何年もかかる

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

似たような感じで

真田孔明：

お客さんもお医者さんとか、そっちの方？



北の物販大富豪：

そっちの方ばかりや、あとタマがあまっとる人

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

だから、ハワイのすし屋でね、君の言う事を聞いて、冗談かと思ってやったら、3億儲かって・・・
桁も違うや、3億ほども儲かったゆう人もおるんやから

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

ねえ、●●●の社長

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

ハワイの、わかる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

金持ちに遭遇した事ってある？

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

「何言ってるの、お前3,000万ぐらい、とっとけや」

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

でも株主は10%や



真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

簡単なレースは、孔明、そんな危険なとこの橋渡しじゃなくて

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

安定したとこ

真田孔明：

そうですね

北の物販大富豪：

俺は思うに、物は建てる必要はない

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

建ったものを買う

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

建前を作らない、働かない

真田孔明：

おお～

北の物販大富豪：

こういう事になるんやて

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

なんか、孔明、不思議な顔して、俺の顔見とったから

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

でもね、今ね、世界から見たらね、一番高かったのは、60%ほどのETF

真田孔明：

上がり高が？

北の物販大富豪：

上がり高が、んで、この間あんたに1563がちょうど1年で、136%や

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

でもね、これが今までの経験の中から言うと、会社作ると法人税、その他もろもろかかるよ

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

それで建物を建てる、持つと固定資産税かかる

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

大きいのがね、もう1つ、金を持ってたら何がかかる？

真田孔明：

う〜んと、税務署？

北の物販大富豪：

相続税



真田孔明：

あ、相続税、資産になっちゃうし

北の物販大富豪：

はい、そう、死と税金は永遠に追っかけてくるわけ、ね

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

だから死と税金は怖いよ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

死と税金は、永遠に孔明の背中を追っかけるよ、だから金持ちにならん方が、なんらいいんだよ、昔から楽は悲惨になるって言うて

真田孔明：

うんうん、借金を取り様がないですもんね

北の物販大富豪：

そう、うん、でもね、借金しとるやる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

たとえば借金しとる人は、どういの？日本の金持ちは、世界の金持ちも同じやけど・・・みんな仕事を1つもしてない、知ってた？

真田孔明：

知らない 笑

北の物販大富豪：

本当よ

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

それで昔、東京でさ、先生がさ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

「金持ちってのは、会社持っててすごいですね」「何、君言ってんだよ？」東京でね、金持ち、
でっかい家、ね？所得を昔、所得番付が出てたよね？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね？金持ち

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ダ〜っと・・・100人の中にせいぜい5~6人やと

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

起業で1代目でよ、●、●、●なんとかとかさ、今なら

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

●●●●の、ね、あとは孔明、全部、無職

真田孔明：

本当に？

北の物販大富豪：

知らなかったやろ？



真田孔明：

知らなかった

北の物販大富豪：

働いとる奴に、ろくな奴はおらんわけよ・・・これはね、知らんと思うで、必死に働けば必ず死ぬ、昨日も言うてたやろ

真田孔明：

はい、名言で、はい

北の物販大富豪：

だから本当の金持ちは、あんたの言う金融工学で金を儲ける

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

それと利権

真田孔明：

金融工学突き詰めると利権に絶対なっちゃう 笑

北の物販大富豪：

だから、その答えはものすごく正しいんやけど、人のご飯茶碗の中に箸入れてみい？

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

虎は虎同士なんで戦争をするのか？1つの獲物をを取り合うのかだよな？

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

彼ら冗談で戦いするか？女取るか金取るかで必ずいさかい起きる

真田孔明：

う～ん



北の物販大富豪：

あと、どれ取るかやね

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

昔、クレオパトラがシーザーを、クレオパトラに聞いた言葉ね、「全てのものをお前に与えた。
あと何が欲しい？」

真田孔明：

アフリカ 笑

北の物販大富豪：

アフリカ！ あれと同じ事

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

女でもだから、図に乗せとけば、全部どのみちなる

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

でもこうやって調べたら誰でも調べとるけど、ね、オブショア？香港、シンガポール・・・じゃないやろ？本当は？

真田孔明：

ああ？

北の物販大富豪：

ケイマン

真田孔明：

ケイマン



北の物販大富豪：

ケイマン諸島、それからマン諸島、それからスペインの1番端に

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

あるイギリス領

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

あとイギリスの近くにあるちっちゃい島

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

アイルランド？

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

ねえ、あと覚えられんの・・・結構あるやろ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ねえ、所有権、誰持ってるかわかる？

真田孔明：

エリザベス？違う？

北の物販大富豪：

そう、エリザベス



真田孔明：

エリザベス

北の物販大富豪：

エリザベス、ね、だから金のことそうやって聞いたらわかるやる？

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

力のある者は利権を持っとるって事なんや

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

だから力のある人は、金なんていらんわけや

真田孔明：

利権

北の物販大富豪：

利権持っとる

真田孔明：

うん、でそれが手に入らないんですよ、やっぱりね

北の物販大富豪：

そう、だから一般・・・我々は会社作って保険料取られてね、ね、今もう、あれやからね、無職やからね、俺

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

だから、徐々に・・・その・・・ストーリー通りにこう行きたいなと

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

無職で金が持っとなると・・・そういう風に進むべき生き方を望んだらわけや

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

金も欲せん方がつかみやすい

真田孔明：

う〜ん、欲せん？

北の物販大富豪：

欲、欲、人間の欲ほど心を変わせる事はない

真田孔明：

そうっすねえ？、間違っって投資してたとき、欲にかられてましたけど

北の物販大富豪：

そうや

真田孔明：

今冷静になりましたけど、かなり

北の物販大富豪：

欲出さんとずっと

北の物販大富豪：

だから原理は一緒だよ、ね、だから、点と点にも入る、ね、その間に金を設ける発想をぱっと
抜き取ったって、あんたのように危険な発想ばかり、こうやって作ってたら・・・

真田孔明：

いやいやいや追求していくと、あれになっちゃう

北の物販大富豪：

絶対に実行できん

真田孔明：

実行できないのばかりですね、やっぱ



北の物販大富豪：

人のご飯茶碗に、箸どん入れたら危ないよ

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

本当に、そりゃお前、やくざ者のシマにお前、殴りこみかけるみたいな話

真田孔明：

儲かるからって、風俗業に手を出している・・

北の物販大富豪：

そやる？だから風俗とヤクはやっぱ危険なんや・・（りょうづな）やから、そういうところに手を出しとったら、ろくな事がない

真田孔明：

ああ?なるほど、じゃ服とかがやっぱり、無難なんですか？

北の物販大富豪：

そうそう、まだ本当にね、軽くて、楽な、うちも服屋も当時バブルも今も1~2軒やっとなんど・・

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

服って軽いやろ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

服の流通業でもやっとな、あんたところにも、中国の服も

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

日本のメーカー見りゃ、倉庫に眠っとる



真田孔明：

ほお～

北の物販大富豪：

わかる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ある会社ね、6階建てのビル

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

10階建てのビルに在庫の山持っとる、まあそれを10%、引き取るか？それをハワイのなんやっ
たっけ？

真田孔明：

アパベルト？

北の物販大富豪：

もうひとつの・・・

真田孔明：

イーグル

北の物販大富豪：

弟会社

真田孔明：

イーグルってのは、驚みたいなやつですか？

北の物販大富豪：

フォレスト、鷲やわ

真田孔明：

ああ、こんなやつ



北の物販大富豪：

そうそう

真田孔明：

フォレストってやつ、ああ、そうだ、フォレストだ

北の物販大富豪：

ああいうのはもうね、利権も終わって

真田孔明：

全部

北の物販大富豪：

鞘抜きしとっても、もうダメ

真田孔明：

ダメですか、あの有名なやつ

北の物販大富豪：

直接中国で

真田孔明：

やっちゃったやつですよ

北の物販大富豪：

そうそう、去年？一昨年か？

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

去年でだいたいアウトや

真田孔明：

うんうん、おいしい商売が・・・

北の物販大富豪：

そう、だから10%で行こうって、仕入れていけばなんでも儲かるのやで



真田孔明：

10%しか利益を取らないって事ですよね？こっちが？

北の物販大富豪：

10%で仕入れる

真田孔明：

どうやって仕入れるんですか？在庫

北の物販大富豪：

そう、在庫

真田孔明：

でもそれ、どうやって？でも？

北の物販大富豪：

いやいやだから、それをだから、あんま目立たんように売れば

真田孔明：

それもやっぱり、これで？バイヤーとか担当者を

北の物販大富豪：

そんな事せんでも、もともとの付き合いはあるから

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

そのメーカーから要は・・・要は・・・原価消却なわけや

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

でも帳簿から不良債権と一緒に、ちびちびと売れきっとるやる？

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

その10%がさ、手取りの10%だったって、お金には変わらない

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

軽いしさ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ダンボールに詰めて

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

定価の高いものをつかむ

真田孔明：

そこを入り込むのが大変じゃないですか？

北の物販大富豪：

そんなこと俺、もともと現金問屋出身やから

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

薬の

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

薬でも、メーカーとも付き合いして、現金ものを買い付ける



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

現金買い付け

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

あとはお医者さんからの横流しとかさ

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

薬局の横流しとかさ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

プロパーな、横流しとか・・・全部やから

真田孔明：

バンダイの時もおもちゃ会社にいたんで・・・やっぱりそのP流通って言うんですけど、パチンコ流通とかさ、おもちゃの、正規ルートで流せないんで、そういうのは

北の物販大富豪：

そうそう、そやる？

真田孔明：

怪しい流通に流してもらうんですよ

北の物販大富豪：

だからそれを今度、買い付けとった人間やね

真田孔明：

ああ～



北の物販大富豪：

メーカーの奴を・・・4トン車1台いくらや・・・そんな感じやね

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

だからそういう、ボロいところらんと、ボロいやつは出てこんわ

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

清く正しく美しく、言うとったって

真田孔明：

そうですね

北の物販大富豪：

世の中はみんな、常に清く正しく美しく、こう動いとる

真田孔明：

はいはい

北の物販大富豪：

だから人の事は、世のため人のためやから

真田孔明：

はいはい

北の物販大富豪：

最後は自分のためやからね！コロっと変わって・・・そこをコロリと回転できるかだよ

真田孔明：

う～ん、かなり難しいですね

北の物販大富豪：

そのキャッチの仕方や



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

パ〜ンと・・・だからでかいものつかむ時の一瞬の速さ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

気功にもそんなのあるんやろ？パシャーっと目に見えない早さで抜き取っていかんと

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

「あり〜？」と思う瞬間

真田孔明：

無性にこれ言いますよね、キャッシュはね

北の物販大富豪：

だからそこにはキャッシュがないと

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

キレがない

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

キャッシュが切れるようになるんねん

真田孔明：

それまでは地道に物販やってていいんですよ



北の物販大富豪：

そう

真田孔明：

銀行から融資を引っ張れるようになるまで

北の物販大富豪：

うんうんそうそう、だからその数字のつかみ方やから

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

A4の紙に書ければいいねん

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

そう、これA4の書く紙を元帳に印刷したら、A4の紙になるやろ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

元帳を前に作って

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

システムを作ればいい

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

であと、それと銀行へ、そのお金が入金されて出金されて・・・これシステムやろ？



真田孔明：

ああ〜ちゃんと在庫もある程度持って、2ヶ月くらい・・・

北の物販大富豪：

そう、人間の基本や

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

そこら辺だけやって、あとは年数を待つ事やね

真田孔明：

年数を、地道ですね

北の物販大富豪：

そう

真田孔明：

黒田先生も言っていましたね、信頼と信用はずっと・・・返せば返すほどもっと貸してくれるから、金融元本もだんだん結果的に返さなくてよくなると

北の物販大富豪：

そんな永遠にね、経済ってのはそういう仕組みになってしまうと

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

で、毎月返済日ってのがあやろ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

孔明さ、1,000万借りて・・・たとえば今1,000万でいいか、1,000万借りて、ここに1,000万入れといて、電車が出るんやよ、ここで

真田孔明：

そうですね



北の物販大富豪：

がっちゃんがっちゃん言うて

真田孔明：

借り続ければずっと出る事になるんですよ

北の物販大富豪：

うん、ま、そこなんやで、俺が動く必要がないってのはそこなんや

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

たとえば1億持ってるやろ？1億の返済、たとえば銀行にさ、半金って手形回しとく規則がある・半金、手形、手形の差し替えするんや

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

だから入れるのは利息だけや

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

当然まあ、俺は金あまっとるから先払いでええわい

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

金融こういうのはこういうバカなお客さんどなんと思わん、利息先払いでええっちゅうんや

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

利息は安過ぎる、ちなみにだから、うちは今は0.7や



真田孔明：

すごいですね、器量がいいですね、そんな

北の物販大富豪：

だからじゃあここに1億入れていくら入る？ 3分入るで・・・1年間に70万の利息が払うやる？

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

どっちとるんね？あんまり引き算する必要がない

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

それをただ、仕掛けとる、「社長、もう1億ぐらい使ってもらえませんか？」まあ1億くらいはまあええんや「いや、この間あの1億は、もう1年経ちましたから、元本返済できますかね？」しきりに言う、なんぼでもしたる、借り続ける者はどんどん返済して終わりたいとこや、いやいやそうすると、今度は怒るのやで銀行が・・・そういうバカな事を考えてもらっちゃあ困ると・・・今ね、あんたみたいにきちっとお金返す人なんて世の中少ないんやと、どんどん借りて慌ててもええと、（だから）どんどん借りてる 笑

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

だからここにも答え書いてあるんだよ、お前

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

銀行には言わんからさ

真田孔明：

うんうん



北の物販大富豪：

いいよ別に、たった1億ぐらい・・・月、2百何十万にはなる、返済は、十分十分、こっちから
こっちに回るの、また残る

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

元本返済しとってもや

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

それで利息だけ返済の、6ヶ月の手形2回まわしてみい、1億パ〜んと・・・

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

本当やで

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

これで、だから俺、絶対働くの損としてる

真田孔明：

うんうんうん、動く者ほどお金使っちゃう

北の物販大富豪：

そう、大きな金がかかるのや

真田孔明：

人雇ったり営業マン雇ったり 笑

北の物販大富豪：

そうそう、だから今の会社の仕方ない、がっちゃんかっちゃん回るとるから人も来るわけ



真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

だから俺も場合は、どういの？おそらく、あんた達の知らん事を、俺はよう知っとる

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

元本があって、こうやって返済するんやよな

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

これ汽車にしたら、1両つつ返済言うたら・・これ減っていかん

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

こうやって、返済したら減るんや

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

そしたら汽車の長さが短くなるやろ？

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

そんなバカな汽車ないやん？

真田孔明：

うんうん



北の物販大富豪：

だからこれを移動しとるように見るわけよ、俺は

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

この部分の体積と、この部分の体積を一緒にすればこの汽車の長さ一緒やる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

走っとるだけやから

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

わかる？

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

走っとるだけや、車両が

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

長さは一緒やねん、それで、もっと考えたのは、こんな1車両でね、2つ目の車両、3つ目の車両っていっぱい作っていくねん、会社は

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

これおんなじ事させて走らせたらどういう事になるのか？1億2億3億と



真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

ね、もっときちっとやると、銀行がもっと、「いや社長、契約の手形の転がしで」で、あんたの金融ぼ〜んと、それを先生に話してみたりすんね、甘くなでてやって転がせと

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

そのように考えた方が、元本返済もないけども、永遠にその利息を取られるわ、銀行は

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

利息ってのはさ、0.2%で、0.01%で、んで金集めて持っとるやろ？

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

で、こんなんならんのは、70倍くらい儲かってるんやで

真田孔明：

う〜ん、確かにそうですね

北の物販大富豪：

そうやろ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

だから俺は孔明そっちの方を、その先生に聞いて、銀行はなんで儲かっとるんか？

真田孔明：

うん



北の物販大富豪：

で、安いし利息は、本当は

真田孔明：

あ、確かに日銀からの調達が0.1%だったりしますよね？今だとあの～ちょうど日銀が政策やってて、銀行に対して、先に貸し出しをしたら0.1でその分をもらえるっていうキャンペーンをやってるます、銀行と日銀で

北の物販大富豪：

う～ん、そうそうそう

真田孔明：

はい、そういう裏情報は、入ってくるようになりましたんで・・・先生のおかげで、銀行の先生・・・笑

北の物販大富豪：

あのね、もっと怖いのはね、今からもっと怖い事が起こる、何か言うたら、今の日銀の黒田さんは

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

国債

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

国債は全部、俺が引き取る・・・って言うてる

真田孔明：

日銀のホームページにも書いてあります

北の物販大富豪：

そうやろ

真田孔明：

はい、国債を買うとか



北の物販大富豪：

今まで国債だれが買うとったんや？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

各銀行やる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

なんだかんだでそれが不良債権になるから、わっせわっせと書いとったやろ？だからそんなバカな事書くなよとあんたに言っとったやろ

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

世界で1番金融大国は日本なんや

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

日本は儲けた銭、しこたま仕込んで持っとる、うん、その日本の国はなにやっとるか知っとる？

真田孔明：

あの～●●さん（北の物販大富豪）が銀行にやってる事を同じ事を国民にやってる 笑

北の物販大富豪：

そう、それならまだいいよ、まだボランティアでいいよ、ところが日本の国がやってるのは、ね、まずODAに甘い・・・ね、キャンディー食べさせるやろ？

真田孔明：

うん



北の物販大富豪：

そっちに何ださしとる？

真田孔明：

円債

北の物販大富豪：

円借款やる？じゃお前詐欺でないかい、あんた得意な、5円や10円の原価のもんで金稼いどるやる？今全部そやる？国債も黒田貯めて、円借款をね、あんたらで表で見えとらん、500兆と思うとる

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

あんたら、どれだけ調べても500兆としか出てこんわ

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

実際に貸しとるのは、1,500兆超えとる

真田孔明：

1,500兆ですか？ 爆笑

北の物販大富豪：

知らなかった？

真田孔明：

知らなかったです、300兆ってむしろ言ってますよね？

北の物販大富豪：

調べても調べても、どこ調べても500兆ほどしか出ない、本当は1,500兆、1,500兆に近づいてる

真田孔明：

へえええ～



北の物販大富豪：

で、そのお金を全部ブラジルやる？ま、中国にも貯まりよる

真田孔明：

フィリピンもそうですね？この間のボホール島ってまさにそれで、あそこの空港を作る時はあれあげたんじゃなくて、円借款、貸したんです、フィリピンのJICAっていう所で

北の物販大富豪：

あれ、いくらで貸してる？どっか調べてみりゃ出てくるわ

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

びっくりするよ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

日銀が0.01やらで銀行に出してると、その国のレートで貸しとるんやから、あれ

真田孔明：

4%とかそういうので、銀行の調達金で

北の物販大富豪：

そやよ

真田孔明：

新興国の方が、金利高いですよね？

北の物販大富豪：

高い・・・あれね、本当、ま、どこまで言うていいのかわからんけど、今日はジョークや

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

あの～、あれ、国のお金をさ



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

出しとる、表面に出せん

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ブラジル借りるから

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね、それで思いついたんはこれ・・・ブラジルリアル

真田孔明：

これで、返って来る

北の物販大富豪：

そう、これを国民に買わせて、自分はピンハネしとる、わかる？

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

他力本願寺やで、自力でなく他力使っとる

真田孔明：

国は頭いいですね

北の物販大富豪：

頭いいやろ？

真田孔明：

上の方の人は



北の物販大富豪：

だからそういうところに、頭のいいところには、長いものには巻かれる言うやないかい

真田孔明：

政治がバカと思ってるのは、バカな国民だけですな 笑 本当に思いますよ、頭いいですよ、
やっぱり・・・

北の物販大富豪：

だから本当に金融工学と政治工学をくっつけて

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

ね、いいとこ楽天のトリプルエンジン言うたって、こんないっぱい増えていくまい、どう考え
ても一般国民にこんなあげるわけなからう

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

え？俺が言いたいのはそういう事

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

ひっくり返してみれば、決まっとる、誰が買うたか

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

月に100億は増えていくわけや

真田孔明：

お金を創造できる人 笑

北の物販大富豪：

そやる？



真田孔明：

だから創造力

北の物販大富豪：

人が仕掛けとる

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

だから今までの時代とは、全く考え方が違っとる

真田孔明：

上の人は頭いいですね、でも

北の物販大富豪：

今の日銀がそうよ、あの黒田さんって・・・だから普通はさ、日銀の人は今まではさ、ネクタイ締めて、こうやって

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

こうして、青白い顔して写真に写ってテレビに出るわ、今の人見なやダ〜としとるよ？

真田孔明：

商売人なんですか？

北の物販大富豪：

商売人や

真田孔明：

あれ？でも1998年に橋本政権の時に、日銀が独立しちゃったじゃないですか？

北の物販大富豪：

ああ

真田孔明：

あれで勝手に自由にできるようになっちゃったんですか？日銀



北の物販大富豪：

そうや

真田孔明：

前までは政府の銀行だったのに

北の物販大富豪：

うんうん

真田孔明：

日本だけ、誰が、なんであんな事やっちゃったんでしょうね？

北の物販大富豪：

いやだから

真田孔明：

●●さんがやったんですか？

北の物販大富豪：

そうそう、●●さん

真田孔明：

すごいですね

北の物販大富豪：

●●さんはね、本当はいい事をしたんよ

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

●●は、今のもっと金のあるとこ、郵政民営化をやっとった、それでものすごく利権を取って
いっとるわけや

真田孔明：

うんうん、でもあれやっちゃったら、日銀が独立しちゃったら、勝手に金融政策できるように
なっちゃったじゃないですか？



北の物販大富豪：

あのね、政府が持っていると、自分に責任来るやる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

日銀は独立しとる

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

で、俺の手じゃないやん？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

孔明の手やから

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね、だからこう、頭さえ一緒ならさ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

孔明、ちょっとこれやっというって、簡単に影で殺人できる

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

今やっとなることはまさにそう、ブラジルを食い物にする



真田孔明：

あ、そうか、自由にできるわけですね

北の物販大富豪：

そうや

真田孔明：

あれ、国のだったらできないですよ、国のお金になっちゃうから、報告の義務とか？

北の物販大富豪：

そうや、だからそれを全部取りはじいたわけよ

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

こんだけたくさんお金出して、こんだけの収入がある円がなくなるわけがない

真田孔明：

そうですね

北の物販大富豪：

ぼったくりマシンや、こんなん本当にね、俺から言うたら・・・犯罪やね、笑 原価10円のもんでお前、何万かつつ取っとるんやから

真田孔明：

そうですね、しかも円安になると、どんどんもっと上がっちゃうんですよ？リターンが・・・すごいですよね

北の物販大富豪：

だからブラジルリアルにもひっかかるとる、今ブラジルリアルは46円かそこらぐらいまできとるんよ

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

ね、これ全部、連動したんよ



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

もらう時はリアルでもらってる

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

ね、ドル換算で、ドルにチェンジや、アメリカのいいところ取りやから

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

という事は今度、今まで80円もらって今、106円や

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

差額が誰が喰っとるんや

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

という事を考えて、こういうゲームを見るとよくわかる

真田孔明：

そうですね、●●さん（北の物販大富豪）に言われて全部気がつきました、1,000兆の問題とか、●●さん（北の物販大富豪）が同じ事やってる、笑 しかもそれがそうか、その後に黒田先生というか僕達の仲間ブラザーズがいて

北の物販大富豪：

うんうん

真田孔明：

それで日銀のしくみも良くわかったんで・・・独立しててって言って



北の物販大富豪：

そうそう

真田孔明：

ま、彼は銀行マンなんで、銀行からの立場しか知らないですけどね

北の物販大富豪：

ああ

真田孔明：

別に大富豪でも何でもないんで、彼は

北の物販大富豪：

1つの方向、ま、静岡から山を見とる

真田孔明：

そうです

北の物販大富豪：

山梨から見てへん

真田孔明：

見てないです

北の物販大富豪：

こう何面から見ると

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

知恵の光明、光るに明るいだ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

わかった？



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

光明の光ね、

真田孔明：

あっちに

北の物販大富豪：

光って明るい

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

人を照らして・・・

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

仏教の一説なんや、知恵の光明って

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

御釈迦さん、掛け軸で光、バーって線みたいになって出とるやろ？あれや・・・で孔明は今日、誕生日やから、これからあれを目指さんといけんのやね

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

人が拜んでくれるような、そういう人材を孔明は目指した方がいいんでね

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

だから人に金を、そうやって儲け方を、教えていけばさ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

物を作らんでもええやろ？

真田孔明：

そうですね、はい

北の物販大富豪：

日銀の総裁も、物をつくった

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

あれは紙の印刷を、下の会社に出しとるだけや

真田孔明：

まあ信用をどんどん刷ってるだけです

北の物販大富豪：

そやろ？信用の塊をつくっとるみたいなもんやろ？

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

あんたの言う、そうやろ？40兆、あれでも40兆やと思うやろ？あんたら？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

でもなんぼでも



真田孔明：

年間70兆、でも今年なんか140兆やるって噂を、黒田先生が言ってましたね

北の物販大富豪：

そう、もうそういう事にやっとなんねん

真田孔明：

うん、だからその刷ったお金は、国民の前には出てこないお金が多いって事ですよね？

北の物販大富豪：

そう、全部

真田孔明：

海外いっちゃう 笑

北の物販大富豪：

いやいや、だから海外から見ると、高利貸しの国や

真田孔明：

う〜ん、金融工学やってるんですよ、日本は

北の物販大富豪：

そう、だから

真田孔明：

国でやってるわけなんですね

北の物販大富豪：

国でやってる

真田孔明：

そうですね

北の物販大富豪：

それとね、日本はそれなりのお金を富を持つとる事は、全部の国が知っとるわけや

真田孔明：

うんうん



北の物販大富豪：

で、日本の国民は

真田孔明：

知らないですよ、貧乏なままで

北の物販大富豪：

そう、で、借金が増えた借金が増えた言う・・・ね、誰もたとえば、孔明が借金が増えたわけや
ないんやで

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

国の借金が増えたと書いたらええ

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

それが1人当たり割ったから、これ800万なりますよって書いてある

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

全然個人と関係ない

真田孔明：

関係ないですよ、本当に

北の物販大富豪：

ま、そこがまだわかってないから

真田孔明：

でもわかってよかったです、見えないですよ、あれは

北の物販大富豪：

そやる？



真田孔明：

見えないですよ、あれは

北の物販大富豪：

●●やったけ？よく似たような事書いとるやろ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

よく似たような事書いとるやろ？

真田孔明：

あ、本当ですか？●●さん？

北の物販大富豪：

なんか確か

真田孔明：

●●さん？●●先生

北の物販大富豪：

その●●言う、読んでない・・よう日本の借金1,000兆言う

真田孔明：

ああ～、●●さん書かないですよ

北の物販大富豪：

あ、本当に？誰かそんなの書いとる、間違った考え方、皆さん一生懸命・・

真田孔明：

いっぱいいますよ、みんな1,000兆問題だって言ってます

北の物販大富豪：

だから全然問題じゃない 笑 あのね、1,000兆どころでない金を貸して、その利息をあげて印刷すりゃ儲かるシステムなんや

真田孔明：

すごいですよね、で、国民にはちゃんと働かせると・・サラリーマンとして



北の物販大富豪：

そう

真田孔明：

全員に

北の物販大富豪：

うん

真田孔明：

システムの中で

北の物販大富豪：

そう、だから小学校も中学校も高校も、大学でもきちっと

真田孔明：

やればやるほど、そっちいっちゃう

北の物販大富豪：

やればやるほど、きちっとした日本で、使いやすい人材を製造しとる

真田孔明：

まさにうちの母親とかもそうですね、公務員、先生でまだ現役ですよ

北の物販大富豪：

だから製造機がある、だから国はそうやって製造していっとる

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

なんだかんだうまい事言って、だからそこをまあ・・・あんたゴメン、1回切らして・・・（冷房切る）

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

涼しくなくした、冷え性やろ、おれ



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

虚弱体質、そこが1番の大きなポイント・・・そんなとこ見えとっても聞かないとね

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

でも不思議に思わんの？なんで、トリプル・・・

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

そんなバカな、100億つつ、誰がどっから用意して持って来るの？

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

だからそのシステムを知っとる奴が、ああゆうこと仕掛けるわけよ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

フィリピンのあれ・・・飴玉、最初少し金見せて・・・飴玉をまずしゃぶらせる

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

魚釣る時も餌取って来て、ぱらぱらと撒くんや

真田孔明：

うんうん



北の物販大富豪：

魚寄って来るから

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

その魚を見て、大きな魚もっと来るわけや

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

そこで発生するのがなんか言うたら、円借款や

真田孔明：

JICAってそのためのあれなんですね？

北の物販大富豪：

そう

真田孔明：

ODAとか言いながら

北の物販大富豪：

そうそうそう

真田孔明：

あれ見たら、あげてるんじゃなくて全部ね円借款になってるんで・・JICAのあれを

北の物販大富豪：

そうそう

真田孔明：

空港建設の、ボホール島の・・

北の物販大富豪：

あのね、あれよりもっと怖いのはJICAもそうやけど、JETRO



真田孔明：

JETRO

北の物販大富豪：

あれもすごいんよ

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

ほんとJETROやわ・・・ジェットエンジン

真田孔明：

JETRO、末端の人達はなにをやってるのかわからないですよ。JETROの人達もね、自分達が

北の物販大富豪：

そうそう、国のシステムの中で動いてるだけや

真田孔明：

そうですね

北の物販大富豪：

JETROが何を今目指してるのか言うたら、やっぱ資源

真田孔明：

資源

北の物販大富豪：

資源、油、ガス

真田孔明：

そこに投資をして

北の物販大富豪：

そうそう、それを持ってる国に貸すの、金を・・・

真田孔明：

うんうん



北の物販大富豪：

ここになんぼでも入れる

真田孔明：

マレーシアも

北の物販大富豪：

そうそう、出たところに、半島とか前のほうにね、油いっぱい出るところがあるらしい

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

で、だから「いや～いいですよいいですよ」って

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

日本のお客さん、どんどん呼んでくれと

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

大した事無いんですよっと

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

んでそこで、利権ゆうから

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

そやる？



真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

ただで印刷したもんを

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

えっさかせっさかこっから金利取っとるやる？

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

やりくちがでかいやる？

真田孔明：

でかいですね

北の物販大富豪：

そやる？前に30兆貸したから、こんな感じやよ？

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

返せんで、金利も払えんから、ガスよこせ油よこせや

真田孔明：

そうですね、資源を格安で叩き取っちゃうんですね

北の物販大富豪：

そうそう、権利の分だけ資源取ってるよ、お前

真田孔明：

すごいですね



北の物販大富豪：

お前、油や

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

リッターいくらやら、1ガロンいくらやら、わけのわからん事言うて

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

政府はまた横流ししとる

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

人間なんてやってる事はみんな一緒なわけ

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

洋服の横流しも

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

原油の横流しも一緒

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

金は金で横流し、油は油で横流し



真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

だからバッタもんの油やる？んなもん嘘に決まっとる、あんたの言うパチンコなんとかと一緒に
でさ

真田孔明：

パチンコ流通

北の物販大富豪：

パチンコ流通、だからただ、ああいう油が走るんだね

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

だから、ガスも油もみんなそういう事になっとる

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

全世界

真田孔明：

全世界

北の物販大富豪：

日本は全世界でそうゆう事やっとる

真田孔明：

頭いいですね

北の物販大富豪：

そんなもん

真田孔明：

ほとぼりアメリカから学んだんですよ？



北の物販大富豪：

そう、アメリカが、アメリカがね、日本から・・よう聞いてくれた

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

アメリカが国債一番買っとるのは中国と日本

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

中でも日本はダントツ1位や、ね、だからアメリカが、この電車を発明した

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

電車

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

わかる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

アメリカがこれ発明したんや

真田孔明：

そうですね、金融工学全部アメリカが作ってますね

北の物販大富豪：

だからすごいことや、アメリカは、だから日本に返さんかならんのは元本と利息は満期になる
わな



真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

返してくれる？、返してくれるよアメリカは、きしっと・・次の・・今年、どっか返したな？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね、借金が無くなったやら国債やらをね、だからちょっと謝礼を余計につけたやつを・・その次、わかる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね、象さんがでかくなってきたわけ

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

わかる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

という事は永遠に、アメリカは、どんどん日本から吸い上げていっとる

真田孔明：

う～ん、上納金

北の物販大富豪：

上納金・・いやいや、返済しとるやろ？あれは？ていうのが敵国の話や

真田孔明：

うん



北の物販大富豪：

そやる？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

だから今、どこかと戦争やっとするけど

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

イスラム国やったっけ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね、あれ、米軍？何とかという地区へ近づいたら空爆しとるよね？

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

お国の利権のためには空爆するやろ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

アメリカが・・・

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

人の乗ってない飛行機にミサイルつけて、爆弾つけてさ、ドンパチでたまにやっとする



真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

近寄らないように

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

なんで、じゃあ本体を叩かないの？みんな鉄砲持ってさ、こうやって「頑張るぞ〜」ってイスラム国でやっとな、あそこにどんどん落としゃ、すぐ問題解決する

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

なんでしないの？アメリカの武器を使っとるわけよ、みんな一生懸ダダダダダダダダって・・・在庫処理

真田孔明：

在庫処理！ 笑

北の物販大富豪：

不良在庫の処理をせんと回らんやろ？会社と世界は？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

不良在庫の処理や、新しいの

真田孔明：

だから安全なとこ撃って

北の物販大富豪：

そうや、だから近づいたらダメなとこは、来たらボンやっとなけど

真田孔明：

うん



北の物販大富豪：

全部やればやるほど、拳銃が売れるし、ね・・・消費や消費

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

経済消費よりもっと早いよ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

バカバカって、パ〜ンパ〜ンじゃないよ、今は、ダダダダダダダッ

真田孔明：

1発辺りが高いし、しかも、いっぱい使える

北の物販大富豪：

だからあれもやっぱアメリカが生み出した金融工学や

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

そう思わん？

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

この間マレーシアの飛行機2機落ちたやろ？

真田孔明：

はいはい、落ちましたね

北の物販大富豪：

で、1機がロシア落としたって話



真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

本当かよ？

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

そりゃ違うと思うな

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

ロシアなんて関係ないわ、マレーシアなんて

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

このマレーシアの悪いところは、TPP知っとるやろ？

真田孔明：

はい、TPP

北の物販大富豪：

1番ごねたのはここなんや

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

あれ落ちた飛行機、製造元どこなの？ボーイングなんかやろ？落ちたの

真田孔明：

うん、アメリカ



北の物販大富豪：

アメリカ・・・おかしいやろ、ボイスレコーダーがないゆうやろ

真田孔明：

ああ、見つからないってね

北の物販大富豪：

そんなバカな事ある？

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

ボーイングもね、地球の中で落ちてるの絶対見つかるのは、うちのボイスレコーダー

真田孔明：

そうっすね

北の物販大富豪：

どっかにこの剣で敗れる矛はない？

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

この矛で、ま、なんか矛盾した話や

真田孔明：

矛盾

北の物販大富豪：

まさしく矛盾工学や

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

俺はまあ、これは絶対におかしいと



真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

結構最近ね、そういう書いとる人もおるんや

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

ところが世に絶対に出ない

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

絶対に世に出てこん、そういう文章は

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

なんでか言うたら、アメリカの国益に反するから、全部消しゴムかかる

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

ペーパー全部終わり

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

だから変なところに進むとそういう事になる

真田孔明：

うんうん



北の物販大富豪：

だからなかなか、このTPPにも、うん言わんやろ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

日本みたいに交渉したらええ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ここの国の人は、アメリカの交渉をパンと指を切るように切るわけ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

それ、飲めんみたいな・・

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

だからこの日本の政府にさ、「孔明さん、マレーシアの大臣に会って、少し説得したってくれ
るかな？うちにはちょっと無理みたいだから」こうなる

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

それでもきかんからさ、落ちたやら、ね

真田孔明：

怪奇現象 笑

北の物販大富豪：

怪奇現象や



真田孔明：

ヤクザと一緒にですね

北の物販大富豪：

そやる？あれ1人じゃやっとならんよ？

真田孔明：

うん 笑

北の物販大富豪：

日本も同じ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

日本は絶対に表面にだってね、見せんから

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

あ、昔、田中角栄の時代に

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

角栄が逮捕された

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

ひやま調書？

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

娘3人おったやろ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

1人は交通事故で、1人は海で、もう1人ははねられて亡くなっとる

真田孔明：

ええ〜！？

北の物販大富豪：

3人おって

真田孔明：

3人とも

北の物販大富豪：

誰も書かんない、書いたらもう危険やから

真田孔明：

ああ〜

北の物販大富豪：

もう書いたら危険やから、誰もそんな触らない

真田孔明：

ああ〜

北の物販大富豪：

本当にそんな感じ、だからなんか立派な検事が、刑務所のお風呂行って背中流してさ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

「先生、これは何？」、「そうや〜」、その時「よっしゃよっしゃってその時ワシ言うたんや」って事言ってさ、1番生々しい調書取ったと、「よっしゃよっしゃ」とかさ・・・ピーナッツ？ピーシーズ？何かもらったとこのさ、世界で一番生々しい調書やったら褒め称えられたと・・・



真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

結末は・・・暗い結末や

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

だからダメやいうとこ入っていったらダメや

真田孔明：

ああ〜危ない？

北の物販大富豪：

そう、危ないところには入らない

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

だから我々は、やっぱそこを1番重視しとるんや

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

遊んどったら、そういうところはね

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

こう見たり聞いたり、余計するから

真田孔明：

うん



北の物販大富豪：

会社でもそうやる？機械でも部品でも、手にもって部品なんかガチャガチャ、ガチャガチャって締めとればさ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

考えんでもさ、ちゃんと5時まで終わるやる？

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

5時からさ、家帰って、あ～疲れたってビール飲んで、風呂入って寝りゃあさ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

ま、別に犯罪なんて犯さんさ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ぶらぶらしとる奴が一番危険や

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

だから1番危険なところに、我々は立っとるかもしれん

真田孔明：

う～ん

北の物販大富豪：

時間に余裕あるんやから



真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

時間と金と、そういうのが、だんだん横についてくる人はやっぱ危険になるわ

真田孔明：

笑

北の物販大富豪：

孔明は気いつけた方がいい

真田孔明：

はい、わかりました

北の物販大富豪：

そやね、俺昨日、だからそういやその話を・・

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね、政治が動く時に、株が動く

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

政治が動いたら株は動いたやろ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

80円から100円になって、日銀の人が変わると・・9月11日、孔明の誕生日は9.11や

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

怖い、昨日もそういうて・・嫁はんが起きてきて、「いや孔明さんの今日、誕生日なんやで、あんた」って言ってきて、「おおホンマか？」って、ちょっとやべえな、あの男は・・9.11の男の世界で、すごいわ、知恵も巧妙で、ちょっと知恵がありすぎて・・あのね、もう1つ書いてあげると、価値が、物の価値が下がる時、ハゲタカファンドが動くわい

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

その銀行の黒田さんに聞いた方がいいのかもしれないが

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

銀行は不良債権をどうやって売ると言う、バスケット売っとる

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

バスケット売りで、ハゲタカに売っとるやないかい・・ありゃ

真田孔明：

そうですね、ここね、ちょっと今、半田先生と一緒に狙ってるとこなんですよ、あの量的・質的金融緩和とかが終わって

北の物販大富豪：

ああ

真田孔明：

落ちた時とかに、ファイナンスして

北の物販大富豪：

うんうん、これね、このファンド・・ファンドは許可いらんのやて

真田孔明：

うんうん、許可要らないのか



北の物販大富豪：

そう、許可いらんのや、いやだから、要は合同会社ってかね

真田孔明：

ああ～、それをやってるのが今の藤原ヘッジファンドとか、ああいう名前でやってるのが、実はね、その仕組みなんですよ、合法的にちゃんと全部チェックしてやってるんですよ、あの、半田先生って人は

北の物販大富豪：

藤原、だからあと・・・ま、普通のファンド

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

でしょ？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

うちらも、●●ファンド持っとるけど、おそらくおんなじ事みたいで、ただでかいところは

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

このハゲタカが、あのハゲタカってのはさ、ホテルも・・・

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

マンションも、テナントも

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

そうやって不良債権をこん中に入れて、一括買うや、で、恐らくワシが思うには、10%



真田孔明：

10%

北の物販大富豪：

不良債権は10%なんて行かんと思う

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ファンドが買うてるんやろ、ハゲタカが

真田孔明：

20億の不良債権を、2億とかで買ったりするって言ってました、銀行から

北の物販大富豪：

そうそう、だからそれは10%や

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ね、だからあの～ハゲタカは、もっと安い

真田孔明：

もっと安いですか？

北の物販大富豪：

要はハゲタカからいくつか買ったんやけど

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

だからその、売りに来とる新宿の何丁目の●●●●●

真田孔明：

ああ



北の物販大富豪：

が俺に言うんや

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

「いや～●●さんはハゲタカを食う何ですかね？あんたは？」って言われて

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

わ～って来てさ、「バカ野郎、お前なめとんのか？」って、そういうやりとりした事あるけども

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

ハゲタカを食う人って、なんでやって俺に言うかな？「バカ野郎、お前」って・・・と言うた事を覚えとるわ

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

いやだから何でも、もっとらんかもしれんけど、ショッピングモールも、マンションも

真田孔明：

そういう時にまとめて

北の物販大富豪：

うん、それはね、うちの問題なの、そういう時に銀行が・・・自分らの銀行金出さねえ

真田孔明：

出さないですか？それは？

北の物販大富豪：

俺にね



真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

だからそこが、1番の問題なんやね

真田孔明：

そんなんじゃああの、合同会社とか499人まで囲えて、その中で49人トップ

北の物販大富豪：

うん

真田孔明：

49人が金出せる仕組みだから、2億、3億だったら調達できると・・・そりゃ何十億は無理ですけど、みんな金持っていない人ばっかなんで・・・俺達の周りは・・・そんな大富豪達はいないんで

北の物販大富豪：

それとね、あの?この前、●●●●●があんた達が合同会社の金、3万円の口なんかで集めて、金持って逃げた●●●●●

真田孔明：

ああ、だから僕もやられちゃったやつですね?

北の物販大富豪：

あんたも入れとった?

真田孔明：

いやいや入れました、いっぱい入れてました

北の物販大富豪：

本当?

真田孔明：

ちと1億以上入れてるんで 笑

北の物販大富豪：

バカだね



真田孔明：

ええ、バカです 笑 2012年

北の物販大富豪：

本当？

真田孔明：

はい、で、●●さん（北の物販大富豪）とお会いする前ですね

北の物販大富豪：

な、会ってから・・・会う前やったかな？

真田孔明：

あ、1度、中華料理屋で会った後

北の物販大富豪：

かなんかや、ね

真田孔明：

はい、オフィスに来た時はもう飛んでたんで

北の物販大富豪：

ふ～ん

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

あ、俺はさっき人の金は預からないゆうのはそう言う事や

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

これね、金、じゃあさ、ものすごい怖いもんで、集まるとそれでまたなんかしようと思うかな
と思うやねん？

真田孔明：

うんうん



北の物販大富豪：

ね？そうすると自分の金か人の金か、これと一緒にではっきり見えんようになってしまうんや

真田孔明：

ああ～、預かった人が

北の物販大富豪：

ああ、だからそれは絶対しない

真田孔明：

絶対にしない

北の物販大富豪：

うん、あんたも絶対そこには手入れん方が

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

自分の金だけなら、すってもしれとってるけどさ

真田孔明：

そうすね、その僕は入れた方だったんで、飛ばして終わりですよ 笑 痛いすね、信用しちゃってたんで

北の物販大富豪：

それはもう合同会社には

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

入ったんやで

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

なんか資料見た時に・・・これ、どっかで聞いた東京の話によく似とるなと思ったのね



真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

言わなかった？俺の先輩、知り合いの先輩、みんなさ、1人は北海道で、1人は四国で

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

200億、300億で飛ばしとる

真田孔明：

ああ？

北の物販大富豪：

もう1人は130億ほどか

真田孔明：

みんな同じ方法で？

北の物販大富豪：

まあ、不動産屋っていう看板かけて、バブルの時に借り賃って、金なんてないって言うのとったね、あの働いてないからね、銀行からもらって

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ちょっと、動かして・・・五反田に、ワンルームマンション住んでた

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

それくらい

真田孔明：

うん



北の物販大富豪：

ね、銀行来るやろ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

じゅんちゃん終わったから一緒に飯でも食いに行こうよ、そこの居酒屋行って

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

でさ、「仕事が終わったら、お前も来てくれ、いつものところにいるから」、びゅーっとベント来てさ、たまに家よってくって？3LDKや、ね、無職やぞ・・とんだ無職やぞ

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

だから普通やないんや

真田孔明：

ああ～

北の物販大富豪：

頭からそれ狙いや

真田孔明：

うん、ま、あの時は、●●●●●さんを信用してて、●●●●●さんが進めてる案件だから大丈夫だと思っちゃってて、僕も・・人が確かだから、その相手も、やっぱね、結構前からずっといるんですよね、やっぱああゆう人達って・・ちゃんと、そのすぐ来て、信用するわけじゃなくて、結構ずっと前からいたんです

北の物販大富豪：

そやる？

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

そやろ、だから小バエみたいなもんや

真田孔明：

●●●●●さんとずっと、結構近くにいた人なんで・・もう本当に、あれだったのかなって、仲いい人なのかなって

北の物販大富豪：

で、信用した？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

信用して信用して信用して、金額をつり上げて、で人を落として、バ～ン

真田孔明：

そうっすねえ、だから僕も最初から入れたたわけじゃなくて、笑 最初はね、200万位しか入れなかったんですよね、それからどんどん入れちゃってて、気がついたら

北の物販大富豪：

あれ結局、彼は何を元にあの話を作りたしたの？

真田孔明：

だからあれですよ、あの～スポーツブックメーカーってのがあって、海外で

北の物販大富豪：

うんうん

真田孔明：

そこでヨーロッパと、そのたとえばどっかで、賭けるベットが違うと、そこを両ベットすると必ず勝つと

北の物販大富豪：

ああ、リトルアージか？

真田孔明：

そう、リトルアージ



北の物販大富豪：

はあ～

真田孔明：

今もたまに聞くんですよ、でもそれ、スポーツブック、確かに個人でやると抜けるんですよ、何万円かは毎月・・・地道にやると

北の物販大富豪：

うんうん

真田孔明：

それをまとめて組織でやってますっていうような感じのやつだったんですよ、今から考えるとバカな話なんですけど、当時俺は朝まで酒飲んでて僕も判断力が低下しちゃってて・・・爆笑
今だったら絶対やらないですけど、そうゆうの・・・

北の物販大富豪：

ああいう案件ってのはね、必ず景気がよくなりはじめたりすると、昔は金（きん）の話とかさ

真田孔明：

ああ、金山、銀山、銅山とかいっぱいありますよね

北の物販大富豪：

そうそう、それであんたも金でこれだけ金を買いましたってみたいのがあってさ、証書だけおいてく

真田孔明：

はいはい

北の物販大富豪：

で、あとは、金はなかったって言うやつね

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

もうしっかりした手口のやつ

真田孔明：

しっかりした会社っぽくしたやつですよ、ちゃんと



北の物販大富豪：

そうそう

真田孔明：

難しいですね

北の物販大富豪：

あれはイッセイ何とか言うのやったか？

真田孔明：

田中イッセイ

北の物販大富豪：

なんか注釈いっぱいつけとったから、●●●●●が引っかかって、あんたは大丈夫やったのか
と思ったんや

真田孔明：

いやいや、それです、いっぱい飛ばしたの・・それで●●●●●さんの事信用して、やっぱ僕
もいいですって言ったんで

北の物販大富豪：

うんうん

真田孔明：

あれが痛いんですよね、ずっと

北の物販大富豪：

だからさ、12年やっててさ

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

12年、13年、14年

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

3年で、3分で撒いとったら倍や



真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

だから本当に

真田孔明：

毎月5%ですよ

北の物販大富豪：

うん、話ね

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

だから5分の話は危険過ぎる

真田孔明：

本当にね、元本入って来るんですよ、最初にいた人みんな

北の物販大富豪：

うんうん

真田孔明：

でその時にもっと入れて 爆笑

北の物販大富豪：

いやいやだから、こっちの方は、そのいろんな人が

真田孔明：

詐欺じゃないからいいですね、少なくとも楽天証券で

北の物販大富豪：

そうそう、でも本当に最近は、これも最後は最後に一体どうなる？ どうしてこっちをつけなアカン？ だからこれは本当にあがっとるもんだけやから

真田孔明：

うんうん



北の物販大富豪：

金利と、リートと、ね、足し算

真田孔明：

ああ

北の物販大富豪：

で分配しとるわけや、こんだけ分配しても、まだ余力持っとる？

真田孔明：

う〜ん、不思議ですね

北の物販大富豪：

不思議やる？

真田孔明：

どうなるかわからないですね、あんまりこういうの

北の物販大富豪：

どうなるかわからないけど今のところは、入ってきた事実があるから、毎月それもず〜っとやる？

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

そういえばあの、この間1563ね、ちょっと調べてみるかって言ったら、パズドラとなんや

真田孔明：

mixiが40%くらいでしたね

北の物販大富豪：

あ、本当？

真田孔明：

はい、mixiで。

北の物販大富豪：

ゲームやる？



真田孔明：

mixiって、ほらFacebookの前に流行ってたやつ

北の物販大富豪：

ああ～

真田孔明：

あの日本のSNSで

北の物販大富豪：

ええ

真田孔明：

mixi

北の物販大富豪：

ふ～ん

真田孔明：

で、ゲームは1個ね、大ヒットがあるみたいで、mixiで

北の物販大富豪：

なんかそれみたいな話やったよ

真田孔明：

mixiで40%構成されてたんで、いくらでも操作できちゃう株だなんていうのがね

北の物販大富豪：

う～ん

真田孔明：

あれですよ、中身が

北の物販大富豪：

だから、あそこもをたまえば、あのさっきのやろ？だから、元が話の

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

日本の花火がバ～ンって上がって、花火ってきれいやねん？

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

ああいうのを1つ、こう入れとかんと

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

日本うまい、日本うまい、うまい、これが大事やと

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

1番国としては、日本うまい、日本を買わせる

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

花火ば～っと打つのや

真田孔明：

儲かるんですあれは

北の物販大富豪：

そう、バ～ンとETFであげときゃさ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

世界でてるんやからETFの番付が



真田孔明：

確かETFだと、どこの国でも買えるんですよね？

北の物販大富豪：

そう、花火やて

真田孔明：

う〜ん

北の物販大富豪：

花火1発、バ〜ンとあげときゃ、そしたら花火に乗っただけやねん、バカやから

真田孔明：

1番最初の？

北の物販大富豪：

ああ

真田孔明：

次も来る可能性も、ちょっと、ちっちゃいのはあるの？

北の物販大富豪：

うん、なんかそう言うからから、本当にそうならね、損なんて少しだけや、賭けとったらおいしいがな、敵は5割ぐらいまだ花火、魅力ある、あと5割はもっと怖いなと思って、買ったらずぐバ〜ンって4,920円くらいまで行ったんや

真田孔明：

うんうん

北の物販大富豪：

1回、中抜きとかしときゃさ、で俺の場合は、孔明さ、俺は相手に言った事ないやろ？

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

銘柄教えてもらってさ

真田孔明：

はい



北の物販大富豪：

この間も言うたけどさ、のこぎり型に上がっていくんや

真田孔明：

はい

北の物販大富豪：

これがたまにこんな事もあるよ

真田孔明：

うんうんうん

北の物販大富豪：

でもね、ここに行ってこうやって、絶対ここまで、どこまで上がるかわからんよ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

必ずこんななるよ

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

これはないや

真田孔明：

うん

北の物販大富豪：

だ～はないや

真田孔明：

はい

